

嘉瀬誠次氏 略歴

- 1922（大正 11）年 花火師である嘉瀬誠喜氏の長男として生まれる。
- 1936（昭和 11）年 14 歳で父の営む嘉瀬煙火工業に従事、花火師の道に入る。
- 1943（昭和 18）年 現役兵として入隊
- 1945（昭和 20）年 終戦と同時にシベリアに抑留される。
- 1948（昭和 23）年 復員
- 1951（昭和 26）年 長岡市から「三尺玉」復活の要請を受け、父・誠喜氏とともに検討し三尺玉を復活。戦後第 1 回目の打ち上げ成功
- 1953（昭和 28）年 長生橋の美しさを生かした「ナイアガラ」を提案、新作花火として発表
- 1983（昭和 58）年 三尺五寸玉を打ち上げ（火薬量 120kg ※現在は 80kg まで）
- 1986（昭和 61）年 市制 80 周年記念事業「光と音の祭典」で、富田勲氏の音楽と共演。10 号早打ち 80 発のダイナミックな花火を打ち上げる。以後毎年、1 発ずつプラスされ新しい名物となる。
- 1988（昭和 63）年 ブラジルの勲章コメンダドール受章
- 1990（平成 2）年 旧ソ連ハバロフスクにて、シベリアで共に抑留された戦友のために追悼の白い花火「白菊」を打ち上げる。
- 1995（平成 7）年 新潟県経済振興賞受賞
- 1996（平成 8）年 神戸まつりで阪神淡路大震災復興祈願のスターマインを打ち上げる。市制施行 90 周年ファンタジック・イルミネーション in 信濃川でサーチライトとシンセサイザーの演出
多年にわたり花火師として花火の芸術性を高め、国内外に長岡花火を紹介された功績により、長岡市表彰受賞
- 2002（平成 14）年 花火技術向上への貢献、国際交流等の功績により、新潟日報文化賞（社会活動部門）受賞
- 2003（平成 15）年 長岡空襲と同時刻の 8 月 1 日午後 10 時 30 分に「白菊」打ち上げ（以降、毎年）
- 2006（平成 18）年 長年にわたる長岡花火大会への貢献に対し、長岡市から感謝状を授与
同年 8 月、市制 100 周年記念事業[世界の花火ショー]で、韓国・中国・アメリカのスターマインと共に、長岡のスターマインを打ち上げる。
また、嘉瀬誠次最後の三尺玉、2 発連続打ち上げに成功
11 月、長岡市から「功労をたたえる証」を贈呈
- 2011（平成 23）年 観光振興により、新潟県知事表彰受賞
火薬類保安原子力安全・保安院長表彰受賞
- 2016（平成 28）年 4 月 11 日 第 50 回吉川英治文化賞受賞

<海外での主な打ち上げ実績>

- 1984（昭和 59）年 ニューオーリンズ河川博で正三尺玉を含む長岡花火を打ち上げる。
ロサンゼルスオリンピック閉会式で打ち上げる。
- 1986（昭和 61）年 ニューヨーク自由の女神百年祭で打ち上げる。
- 1988（昭和 63）年 ブラジル・サンパウロの日本人開拓移民 80 周年記念で打ち上げる。
アメリカ独立記念日にシアトルで打ち上げる（～2002 年まで毎年）。
オーストラリア建国 200 周年記念で打ち上げる。
- 1990（平成 2）年 戦友の眠る抑留先のソ連・ハバロフスクで、日ソ友好親善行事として
打ち上げる（略歴記載事項と重複）。
- 1994（平成 6）年 アメリカ独立記念日にフォートワースで姉妹都市締結 7 周年記念と
して打ち上げる。
- 1997（平成 9）年 オーストリア・リンツのアルスエレクトロニカで富田勲氏と共演
- 2000（平成 12）年 フィンランド・ヘルシンキで開催された「新世紀を祝うイベント」で
ミレニアム記念花火を打ち上げる。